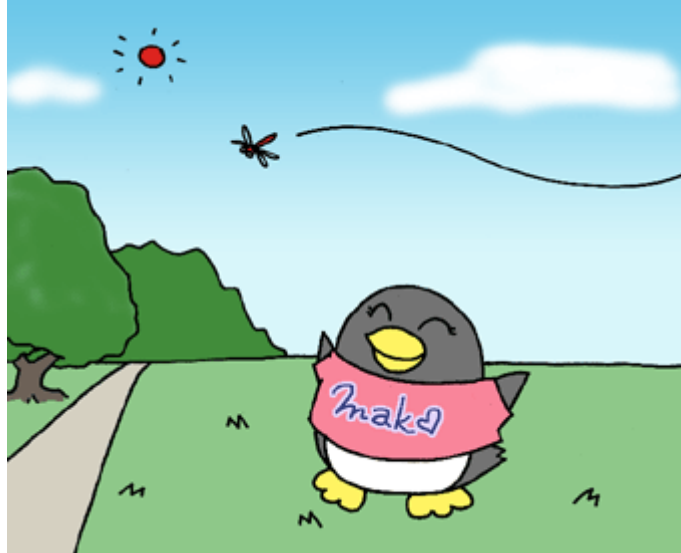


青空に舞え！クルクルタネコプター



空が高くて青くて気持ちいいわ！秋って最高！！こんな日は外でおもいっ
きりあそびたいわね。そうだ、ちょういいものがあるわ。「タネコプター」を作
って飛ばしてみましよう。

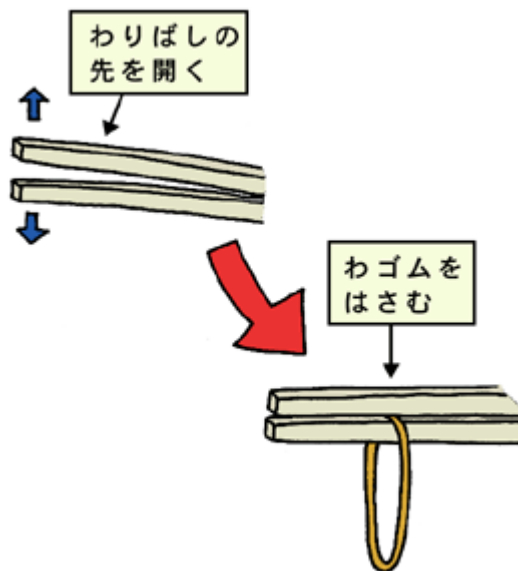
■ ■ □ 用意するもの □ ■ ■

- ・ アイスクャンディーのぼう 1本
- ・ 色あつがみ 適当
- ・ わりばし 1ぜん
- ・ わゴム 1こ～2こ
- ・ ビニルテープ
- ・ 平やすり
- ・ 両面テープ
- ・ はさみ

■ ■ □ 実験のやり方 □ ■ ■

1ばん

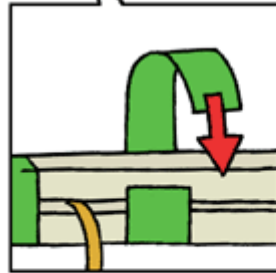
タネコプターの発射台を作ります。わりばしにわゴムをはさみます。



2ばん

わりばしにビニルテープを巻いて、わゴムがはずれたり、ずれたりしないようにします。

わゴムの前後を
ビニールテープで
とめる



発射台は
これで完成よ！



3ばん

アイスクャンディーのぼうに平やすりでへこみをつくります。アイスクャンディーのぼうは、タネコプターのおもりになる部分で、このへこみにわゴムをひっかけて飛ばします。

平やすりで
このような形に
なるまでけずる



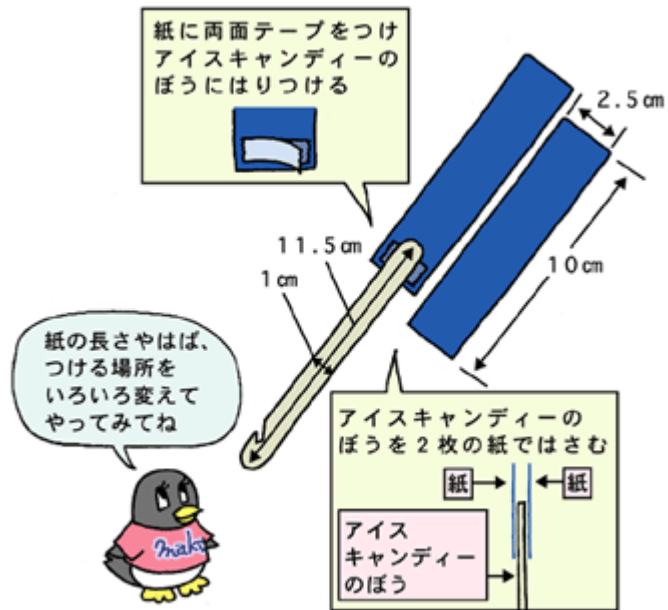
平やすりが無かったら、
カッターを使ってもOKよ。
でも、手を切らないように
気を付けて！！



このへこみに
ゴムをひっかけるの

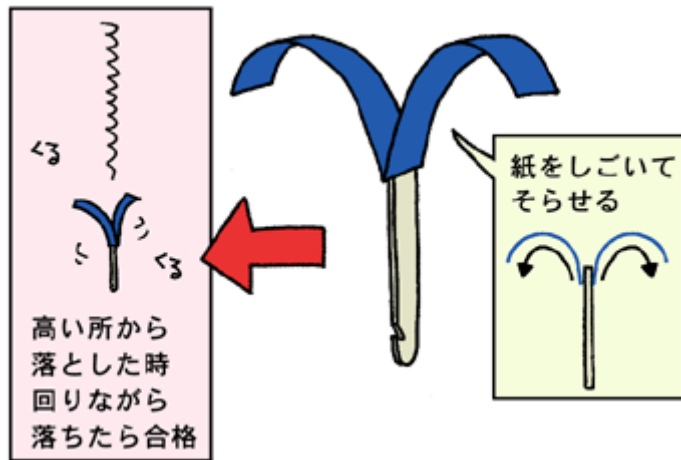
4ばん

タネコプターの羽をつけます。イラストの色あつがみやアイスクャンディーのぼうの大きさは目安にしてください。必ずしもこの大きさでないといけないということはありません。いろいろとためしてみてください。



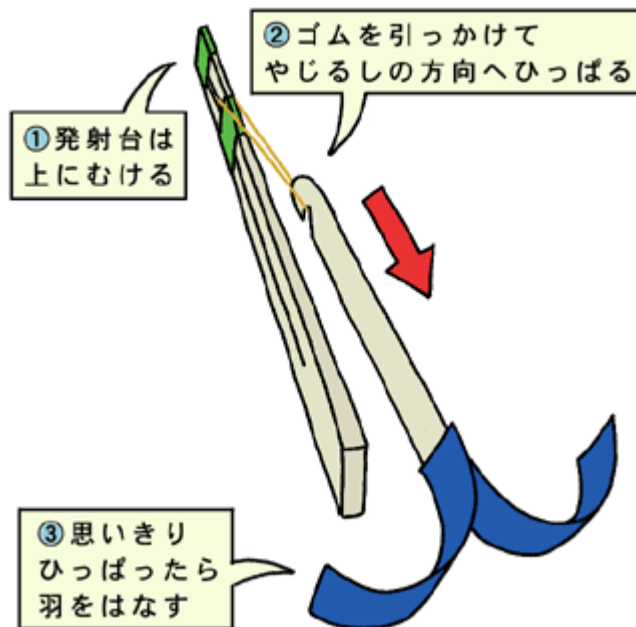
5ばん

タネコプターが落ちるときに空気の抵抗を受けて、ゆっくりとまわりながら落ちるように、羽をそらせます。このとき、上から落としてみてまわりながら落ちるかどうか、チェックをしてください。



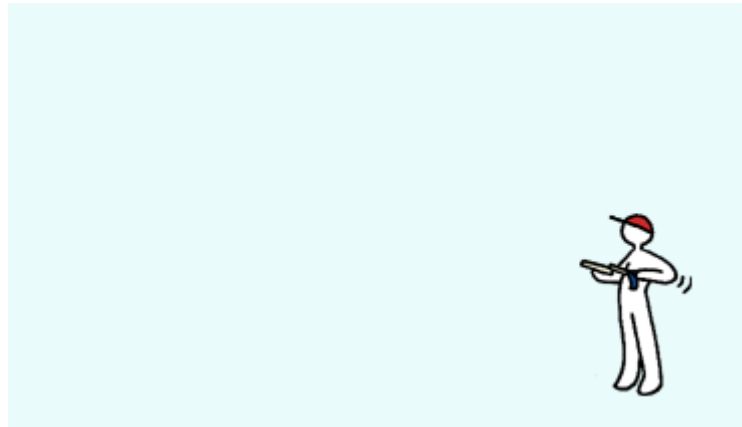
6ばん

飛ばしかたです。必ず外で飛ばしましょう。てんじょうの高い体育館でもよいかもしれません。人に向かって打ったり、人の頭に落ちてこないように注意しましょう。



7ばん

上に上がったタネコプターは、おもりを下にしてクルクルと回りながら落ちてきます。滞空時間を友だちときそっても楽しいですね。



！！ちゅうい！！

たいいくかん そと ひろい
体育館や外など、広いところで
あそ
遊びましょう

ひと
人にむけて打ってはいけません

■ ■ □ 一口メモ □ ■ ■

なぜ、このおもちゃが「タネコプター」なのか？そのなぞをご説明しましょう。植物の種の中には、グライダーのように飛んだり、ヘリコプターの羽のようにぐるぐると回りながら落ちてくるものがあります。風に乗って木やおたがいからはなれたところに落ちて、できるだけ広い範囲に散らばることで、生きのびる種の数を増やしているわけです。グライダーのように飛ぶものには、東南アジアで見られる「アルソミトラ」という植物の種があり、これがグライダーの発想のもとになったといわれ

ています。また、ヘリコプタータイプは「マツ」や「カエデ」、「アオギリ」などの種があります。これらは日本で見られるので、落ち葉の季節になったら注意してさがしてみてください。

今回作ったタネコプターはヘリ「コプター」タイプの「タネ」の模型のおもちゃだったわけです。

